

## 平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本プロセス株式会社

コード番号 9651 URL <http://www.ipd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上石 芳昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括

(氏名) 久保 裕

TEL 03-5408-3351

四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	1,307	19.4	95	—	103	—	61	—
26年5月期第1四半期	1,095	△0.9	△7	—	2	—	△3	—

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 88百万円 (—%) 26年5月期第1四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	11.42	—
26年5月期第1四半期	△0.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第1四半期	8,615	7,640	88.7
26年5月期	9,161	8,214	89.7

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 7,640百万円 26年5月期 8,214百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,400	△0.1	105	△0.1	121	△2.1	73	13.7	14.12
通期	5,350	1.4	385	2.6	430	1.0	266	10.3	52.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	5,745,184 株	26年5月期	5,745,184 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	822,634 株	26年5月期	200,134 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	5,416,490 株	26年5月期1Q	5,545,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に足跡が見られるものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が和らぎつつあり、設備投資が増加傾向にあることや雇用情勢が着実に改善しているなど、景気の緩やかな回復基調は続いております。

情報サービス産業におきましては、ソフトウェア投資は緩やかに増加しており、受注環境においても案件が増加し回復傾向が継続している一方で、人材のリソース確保は困難になってきております。

こうした環境の中、当社は、3カ年の中期経営計画（平成24年6月～平成27年5月）の最終年度として成果にこだわりながら、得意としている社会インフラ分野の中から新たな注力分野、新規顧客を発掘することや、前期より継続してソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることで顧客に最大のメリットを提供すること、などに注力してまいりました。

経営成績につきましては、例年通り第1四半期連結累計期間の検収は少ない傾向にあったものの、工事進行基準が適用されたこと、全社的に技術者の稼働率が向上したことや新入社員の現場へのアサインが早期にできたことなどで、売上高、利益ともに前年を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,307百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益は95百万円（前年同期7百万円の損失）、経常利益は103百万円（前年同期2百万円の利益）、四半期純利益は61百万円（前年同期3百万円の損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### (制御システム)

制御システムでは、火力発電所向け監視・制御システムは、国内の電力業界全体として受注単価が下落傾向にあるものの、更新案件や新規案件の引き合いが増え始めるなど受注環境が回復してきたことで技術者の稼働率が向上するなど、堅調に推移しました。

自動車の制御システムは、次世代自動車向け電動化システムの開発などが堅調に推移しました。また、前期に新たな顧客から受託したエンジン制御のソフトウェア開発案件は横ばいで推移しました。

この結果、売上高は220百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は51百万円（前年同期比44.7%増）となりました。

#### (交通システム)

交通システムでは、新幹線の運行管理システムは、延伸についてのシステム開発が収束し、全体としても開発サイクルが一巡しているため体制が縮小しました。その一方で、在来線の運行管理システムはリプレース案件が堅調に推移したため、全体としては、売上高は前年を上回りました。また、利益では、一部瑕疵対応があったものの前年より改善しました。

この結果、売上高は79百万円（前年同期比52.0%増）、セグメント損失は2百万円（前年同期比91.3%減）となりました。

#### (特定情報システム)

特定情報システムでは、地理情報案件は、前期末より製造フェーズが継続しており、堅調に推移しました。また、危機管理関連も複数の案件が輻輳し作業量が増加したことで技術者の稼働率が向上し、堅調に推移しました。

この結果、売上高は162百万円（前年同期比48.8%増）、セグメント利益は32百万円（前年同期比87.0%増）となりました。

#### (組込システム)

組込システムでは、スマートフォンのプラットフォーム開発は、機種数の減少により作業量が減少したため体制を縮小しましたが、車載情報システムとストレージデバイスの組込システム開発が堅調に推移しました。また、前期に電子部品・半導体関連企業から新規に受託した開発案件は横ばいで推移しました。

この結果、売上高は307百万円（前年同期比19.3%増）、セグメント利益は72百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

#### (産業・公共システム)

産業・公共システムでは、公共向けにおいては、ETC向けシステム開発案件が減少傾向にあるため体制を縮小したものの、前期に受託した官公庁向け船舶案件が堅調に推移し、駅務機器関連は横ばいで推移しました。また、鉄道子会社向けのエンジニアリングサービスは堅調に推移しました。

産業向けにおいては、スポーツ関連システムの開発量が増加し好調に推移しました。

この結果、売上高は312百万円（前年同期比23.3%増）、セグメント利益は76百万円（前年同期比32.2%増）となりました。

## (ITサービス)

ITサービスでは、検証業務は、顧客の商品開発の減少やオフショア化により減少傾向にあるものの横ばいで推移しました。構築業務は、一部顧客での業績の影響により体制が縮小しましたが、その他は横ばいで推移しました。保守・運用業務は、会計システムや企業内情報システムが好調に推移したことなどで、売上は前年より微増となりました。また、ITサービス全体で技術者の稼働率が向上したことなどで、利益は前年を上回りました。

この結果、売上高は224百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は43百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて545百万円減少して、8,615百万円となりました。この主な要因は、自己株式の取得に伴い現金及び預金が減少したことによります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて27百万円増加して、975百万円となりました。この主な要因は、納税及び賞与の支払いに伴う負債の減少と、債券購入及び消費税等の未払いに伴う負債の増加が生じたことによります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて573百万円減少して、7,640百万円となりました。この主な要因は、自己株式の取得に伴い株主資本が減少したことによります。

この結果、自己資本比率は、88.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年7月7日公表の平成27年5月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,002,778	2,069,589
受取手形及び売掛金	1,482,005	1,451,931
電子記録債権	344,845	575,049
有価証券	1,202,316	701,145
仕掛品	121,791	175,561
繰延税金資産	198,685	159,623
その他	40,380	93,862
流動資産合計	6,392,804	5,226,762
固定資産		
有形固定資産	229,824	227,717
無形固定資産	17,698	19,059
投資その他の資産		
投資有価証券	2,169,203	2,781,307
その他	352,111	360,824
投資その他の資産合計	2,521,315	3,142,131
固定資産合計	2,768,838	3,388,909
資産合計	9,161,643	8,615,671
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,424	58,258
未払法人税等	52,640	6,568
賞与引当金	453,043	185,296
その他の引当金	26,049	26,634
その他	286,803	611,913
流動負債合計	877,962	888,672
固定負債		
引当金	63,447	65,571
その他	6,038	20,885
固定負債合計	69,486	86,456
負債合計	947,448	975,128
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,565,538	4,544,215
自己株式	△175,287	△754,212
株主資本合計	8,203,508	7,603,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,686	37,282
その他の包括利益累計額合計	10,686	37,282
純資産合計	8,214,195	7,640,543
負債純資産合計	9,161,643	8,615,671

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	1,095,269	1,307,869
売上原価	927,786	1,051,074
売上総利益	167,482	256,795
販売費及び一般管理費	174,766	161,182
営業利益又は営業損失(△)	△7,283	95,613
営業外収益		
受取利息	7,008	6,462
その他	2,993	2,051
営業外収益合計	10,002	8,514
営業外費用		
その他	355	681
営業外費用合計	355	681
経常利益	2,363	103,445
特別損失		
固定資産除却損	0	48
特別損失合計	0	48
税金等調整前四半期純利益	2,363	103,396
法人税、住民税及び事業税	2,062	2,362
法人税等調整額	3,909	39,180
法人税等合計	5,972	41,543
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△3,608	61,853
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,608	61,853

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△3,608	61,853
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△657	26,595
その他の包括利益合計	△657	26,595
四半期包括利益	△4,265	88,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,265	88,448
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年8月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式622,500株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が578,925千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が754,212千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	203,861	52,479	109,250	257,673	253,265	218,737	1,095,269
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	203,861	52,479	109,250	257,673	253,265	218,737	1,095,269
セグメント利益又は損失(△)	35,344	△25,531	17,641	61,129	57,996	40,422	187,002

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,095,269
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	1,095,269
セグメント利益又は損失(△)	△194,286	△7,283

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△194,286千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△174,766千円及びその他△19,519千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	220,792	79,759	162,597	307,512	312,363	224,842	1,307,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	220,792	79,759	162,597	307,512	312,363	224,842	1,307,869
セグメント利益又は損失(△)	51,156	△2,222	32,986	72,800	76,654	43,803	275,178

(単位:千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,307,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	1,307,869
セグメント利益又は損失(△)	△179,565	95,613

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△179,565千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△161,182千円及びその他△18,383千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	169,636	+0.7
交通システム	81,981	+5.1
特定情報システム	129,611	+41.5
組込システム	234,712	+19.4
産業・公共システム	235,709	+20.7
ITサービス	181,039	+1.5
合計	1,032,690	+13.7

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	177,272	+31.6	76,210	△8.5
交通システム	164,609	△19.5	176,635	△8.5
特定情報システム	276,948	+66.6	201,340	+23.8
組込システム	377,327	+59.7	224,229	+108.0
産業・公共システム	384,976	+54.3	292,437	+48.3
ITサービス	257,244	+29.0	112,983	+10.1
合計	1,638,378	+37.6	1,083,835	+28.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	220,792	+8.3
交通システム	79,759	+52.0
特定情報システム	162,597	+48.8
組込システム	307,512	+19.3
産業・公共システム	312,363	+23.3
ITサービス	224,842	+2.8
合計	1,307,869	+19.4

- (注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立製作所	228,524	20.9	308,513	23.6
株式会社東芝	147,079	13.4	165,062	12.6
日立オートモティブシステムズ株式会社	135,602	12.4	—	—

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 当第1四半期連結累計期間における日立オートモティブシステムズ株式会社に対する販売実績は、総販売実績に対する割合が10%未満であるため記載を省略しております。